

固定資産台帳の資産状況について (令和元年度末)

固定資産台帳は、総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル（資産評価及び固定資産台帳整備の手引き）」に基づき財務書類を作成するにあたり、市の資産状況の明確化及び他団体との比較可能性を確保するために必要な情報を備えた補助簿として整備しています。

この台帳は、市が所有する固定資産について、取得から除売却処分に至るまでの経緯を個々の資産ごとに管理するための帳簿であり、従来の公有財産台帳の情報に加え、耐用年数、減価償却した価額等の情報を網羅しています。

対象となる資産は、一般会計等（一般会計及び地方公営事業会計（下水道・農業集落排水・前処理場事業特別会計、病院・水道・国民宿舎事業会計）以外の特別会計）に係るものです。

現在の固定資産台帳の状況は、下記のとおりです。

（単位：百万円）

区分	勘定科目	件数	取得価額	減価償却 累計額	期末簿価	老朽化 比率
有形 固定資産	事業用資産	7,116	97,382	40,252	57,130	
	土地	5,472	35,689		35,689	
	建物 a	843	56,383	37,057	19,326	
	工作物 b	771	4,662	3,195	1,467	
	建設仮勘定	30	648		648	
	インフラ資産	42,991	167,053	98,318	68,735	
	土地	36,378	15,334		15,334	
	建物 c	74	260	174	86	
	工作物 d	6,510	151,161	98,144	53,017	
	建設仮勘定	29	298		298	
	物品 e	1,000	2,592	2,100	492	
	計	51,107	267,027	140,670	126,357	
無形 固定資産	ソフトウェア f	1	-	-	-	
	その他 g	0	-	-	-	
	計	1	-	-	-	
全資産 合計		51,108	267,027	140,670	126,357	
うち償却資産 a～g		9,199	215,058	140,670	74,388	65.4%

※単位未満の四捨五入により金額が0円となる場合は、“-”と表示しています。

期末簿価の構成割合

